



## サンケン電気株式会社

〒352-8666 埼玉県新座市北野三丁目6番3号  
TEL (048) 472-1111



### ●ホームページのご紹介

企業情報や財務情報など、さまざまな情報を掲載しております。

アクセスはこちら ▶▶▶ <http://www.sanken-ele.co.jp/>

### ●株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年の3月31日まで  
定時株主総会 毎年6月  
定時株主総会の基準日 毎年3月31日  
剰余金の配当の基準日 期末配当 毎年3月31日  
中間配当 毎年9月30日

株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社  
郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部  
(電話照会先) 電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)  
取次窓口 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店  
日本証券代行株式会社 本店及び全国各支店

公告方法 電子公告により行います。  
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。  
公告掲載URL  
(<http://www.sanken-ele.co.jp/koukoku/index.htm>)

●住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について  
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

●未払配当金の支払いについて  
株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

詳細につきましては、当社ホームページ (<http://www.sanken-ele.co.jp/tousika/paperless.html>) をご確認ください。



# SanKen Report

## 第94期 中間報告書

平成22年4月1日～平成22年9月30日



サンケン電気株式会社

# Message from The President

株主の皆様へ



代表取締役社長

飯島 貞利

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。当社グループ第94期の中間報告書（第2四半期連結累計期間 平成22年4月1日から平成22年9月30日まで）をお届けするにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

## ■ 当第2四半期の概況

当第2四半期連結累計期間におけるエレクトロニクス業界は、新興国の経済成長並びに景気刺激策の効果などから、総じて金融危機前の水準まで需要が戻りました。しかしながら、厳しい雇用情勢や個人消費の回復遅れなどから、米国経済は減速懸念が強まり、中国も景気拡大のテンポが緩やかになるなど、世界経済の回復に向けた動きは停滞感を強めました。特に第2四半期以降は、在庫過剰感からTV市場を中心に調整局面となったほか、為替市場では急激に円高が進むなど、当社グループを取巻く環境は厳しい状況が続きました。こうした中、当社グループでは「エコ・省エネ」関連製品の開発・販売に注力するとともに、「新興国市場」への取組みを強化するなど、コア事業である半導体デバイスを中心に売上規模の拡大を図ってまいりました。また、固定費の抑制を継続するなど利益確保にも注力してまいりました。この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は717億73百万円と、前年同期に比べ16.5%増加しました。損益面につきましては、営業利益30億3百万円（前年同期 営業損失77億円）、経常利益21億95百万円（前年同期 経常損失83億40百万円）となり、業績予想値を上回りましたが、四半期純利益は海外子会社での法人税支払いなどから、6億70百万円（前年同期 四半期純損失187億23百万円）にとどまりました。

なお、中間配当につきましては、1株当たり3円とさせていただきますと存じます。

## ■ 通期の見通し

エレクトロニクス業界は、今後も回復基調で推移することが見込まれますが、米国及び欧州景気の減速懸念が強まった場合、在庫調整局面が更に加速するものと考えられます。また、夏場以降急速に進んだ円高が今後も継続した場合、当社グループの収益に影響を及ぼすことが想定されます。こうした経営環境に加えCCFL事業の需給動向など、当社を取巻く状況は不透明さを増して行くことが予想されます。通期の売上高につきましては、経営環境並びに円高の影響等を踏まえ1,460億円と予想しております。通期の損益につきましては、現在実施している構造改革の効果を見込み、営業利益65億円、経常利益50億円と予想しており、当期純利益は円高による影響並

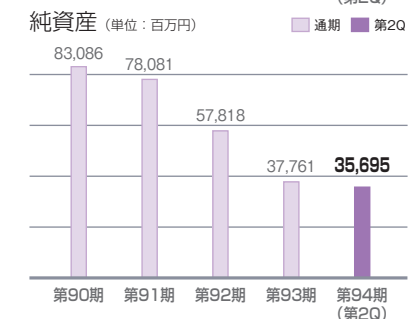
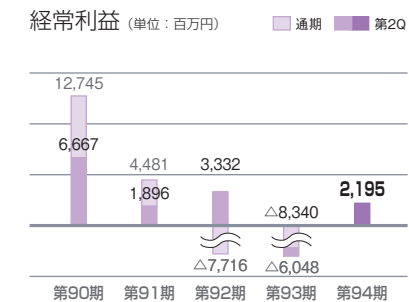
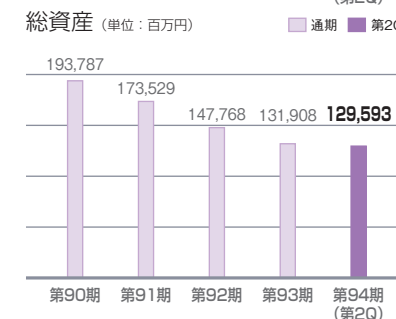
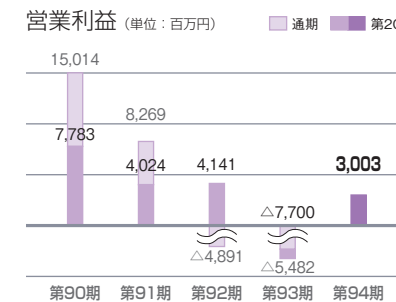
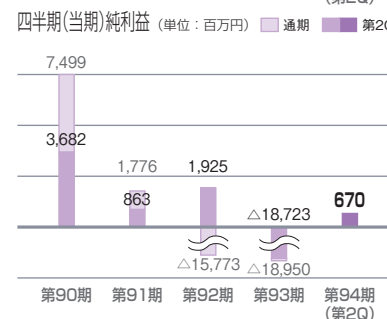
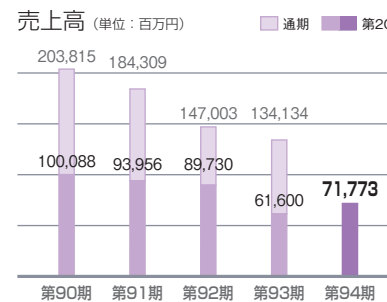
びに今後実施予定の海外子会社でのストックオプション買取り等を考慮し、12億円と予想しております。

今後当社グループでは、コアビジネスである半導体デバイス事業を中心に、「エコ・省エネ」及び「新興国」などの成長市場に向け、積極的に新製品を投入してまいります。特に自動車・白物家電向け製品につきましては、引き続き需要の拡大が見込まれ、また、TV向け製品につきましても堅調な販売が想定されます。当社グループは、これらの動きを着実に収益に結び付け、生産体制の増強・再編などの構造改革を推進するとともに固定費抑制にも注力し、上記業績予想を達成したいと考えております。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# Financial Highlights

## ■ 連結財務ハイライト



# Operating Results by Segments

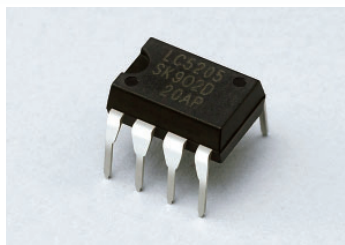
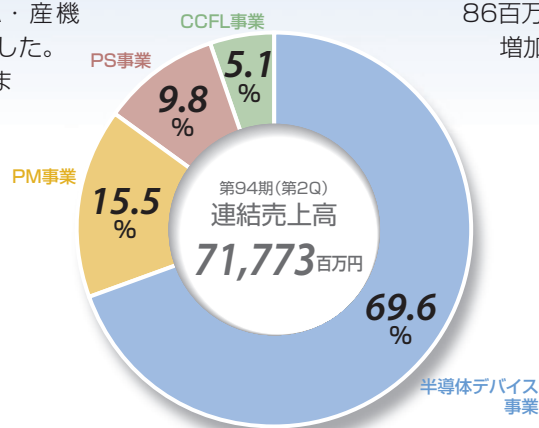
## 事業別の概況

### 半導体デバイス事業

売上高 **49,986** 百万円

半導体デバイス事業では、第2四半期に入り一部のTV市場で受注変動の兆しが見られたものの、液晶TV向け製品及びOA・産機向け製品の販売が堅調に推移しました。また、省エネ・省燃費ニーズの高まりや電装化の進展などから、自動車向け製品の販売が好調を維持しました。特に米国子会社のアレグロ マイクロシステムズ インクでは、自動車向け製品の好調な受注に支えられ、業績が大幅に向上しました。また白物家電向け製品も、新興国でのインバータ化の進展及び国内

での猛暑効果などから、大きく販売を伸ばしました。この結果、当事業の売上高は499億86百万円と、前年同期比135億58百万円増加しました。



LED駆動用IC LC5200シリーズ

### PM事業

売上高 **11,104** 百万円

PM事業では、液晶TV向け製品及びOA・産機向け製品の受注が堅調に推移いたしましたが、部品調達難から売上高は111億4百万円と、前年同期比5億68百万円減少しました。



高効率のサーバ用電源

### PS事業

売上高 **6,997** 百万円

PS事業では、通信市場における周波数の再編及び通話品質向上のための設備投資などから、携帯電話基地局向け製品の販売が好調に推移しました。この結果、当事業の売上高は69億97百万円と、前年同期比7億10百万円の増加となりました。

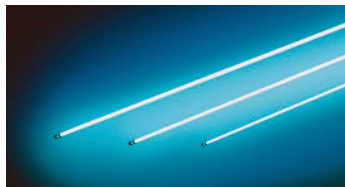


通信設備用電源

### CCFL事業

売上高 **3,685** 百万円

CCFL事業では、引き続き厳しい受注環境が続いたことから、売上高は36億85百万円と、前年同期比35億27百万円の減少となりました。



液晶テレビ用CCFL

(注) 1. 当期より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日) 及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日) を適用しており「半導体デバイス事業」、「CCFL事業」、「PM事業」、「PS事業」の4つのセグメントに区分しております。  
2. 上記文章中「半導体デバイス事業」及び「CCFL事業」の前年同期の値は参考として記載しております。

## CSRへの取組み

サンケン電気は、「経営理念の実践を通じた社会への貢献」を念頭に、CSR (Corporate Social Responsibility=企業の社会的責任) 活動の一層の充実を図っています。

### 経営理念の実践を通じた社会への貢献

当社は、創業時の「創立宣言」において、「産業・経済・文化の発展への寄与」を使命に掲げてスタートしました。その精神は今日も「経営理念」に引き継がれており、「経営理念の実践を通じた社会への貢献」を当社グループの果たすべき役割と責任 (=CSR) と位置付けています。平成21年には「CSR基本方針」を策定し、CSR委員会を中心に積極的な活動を展開しています。

### CSR報告書を発行



平成22年6月に、当社グループのCSR活動の状況を記載した『CSR報告書』を発行しました。CSR基本方針に基づいた「ガバナンス」、「環境」、「社会(ステークホルダー)」の各分野におけるさまざまな取組みを紹介しています。

『CSR報告書』は、当社ホームページからダウンロードすることができますので、是非ご覧ください。

▶▶ <http://www.sanken-ele.co.jp/corp/csr.htm>

### CSR基本方針

- 1 倫理法令を遵守した公正明大な行動**  
企業は社会の一員であり、当社は「誠実」な企業活動を通して社会の信頼に応える。
- 2 総合技術力による省エネ製品の提供**  
持続可能な社会環境の実現に向け、当社は固有技術を集結して環境問題の解決に努める。
- 3 利害関係者(ステークホルダー)との良好な関係**  
当社とさまざまな関係を有する個人、団体、地域に対して、必要な対話と協力を行う。

### 環境負荷低減活動・地域社会への貢献

当社グループは、環境マネジメントシステム(ISO14001)の中で環境負荷の低減に積極的に取り組んでいます。省エネ活動による温室効果ガス(CO<sub>2</sub>)の削減や製造過程で発生する廃棄物のリサイクルを進めており、現在では国内の製造拠点での再資源化率99%以上を達成しています。

また、当社では、「エコと省エネ」を合言葉に、設計段階から省エネ性能の向上を目指した製品開発を行っており、当社製品が使用されるさまざまな分野での省エネに貢献しています。

更に、省エネ効果の高い当社製のLED街路灯をグループ会社が所在する地域の公共施設に寄贈するなど、地域社会への貢献にも力を入れています。

# Financial Data

## 財務諸表

### 四半期連結貸借対照表(要旨)

(平成22年9月30日現在)

科目	金額 (百万円)
<b>資産の部</b>	
流動資産	82,744
固定資産	46,849
有形固定資産	42,438
無形固定資産	787
投資その他の資産	3,623
<b>資産合計</b>	<b>129,593</b>
<b>負債の部</b>	
流動負債	60,730
固定負債	33,168
<b>負債合計</b>	<b>93,898</b>
<b>純資産の部</b>	
株主資本	44,452
資本金	20,896
資本剰余金	19,032
利益剰余金	8,428
自己株式	△3,904
評価・換算差額等	△9,317
その他有価証券評価差額金	△57
為替換算調整勘定	△9,260
新株予約権	302
少数株主持分	258
<b>純資産合計</b>	<b>35,695</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>129,593</b>

### 四半期連結損益計算書(要旨)

(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

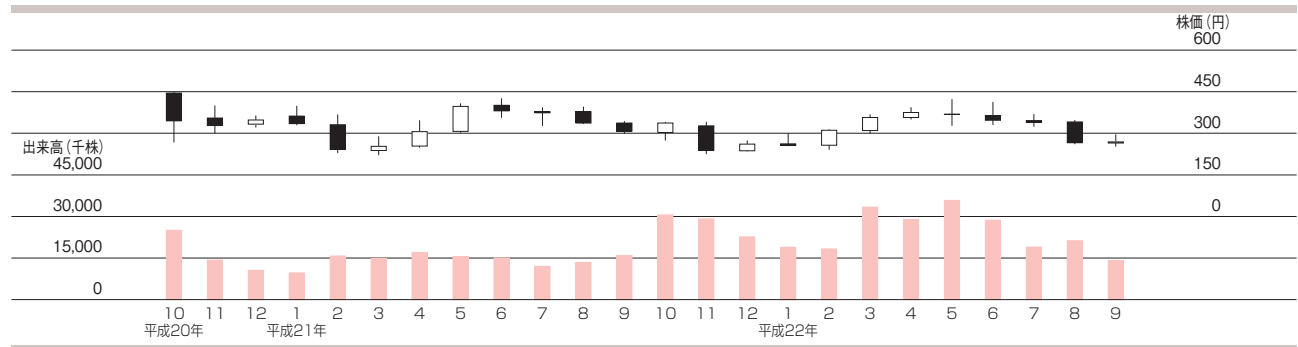
科目	金額 (百万円)
<b>売上高</b>	<b>71,773</b>
売上原価	56,761
販売費及び一般管理費	12,007
<b>営業利益</b>	<b>3,003</b>
営業外収益	213
営業外費用	1,022
<b>経常利益</b>	<b>2,195</b>
特別利益	17
特別損失	167
税金等調整前四半期純利益	2,045
法人税等	1,369
少数株主損益調整前四半期純利益	676
少数株主利益	5
<b>四半期純利益</b>	<b>670</b>

### 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

科目	金額 (百万円)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,596
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,990
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,857
現金及び現金同等物に係る換算差額	△419
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△955
現金及び現金同等物の期首残高	12,114
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,159

### 株価の推移(月足)



# Company Data/Stock Information

## 会社概要/株式の状況 (平成22年9月30日現在)

### 会社の概要

商号 サンケン電気株式会社  
(Sanken Electric Co., Ltd.)  
本社 埼玉県新座市北野三丁目6番3号  
設立年月日 昭和21年9月5日  
資本金 20,896,789,680円  
グループ従業員数 10,152名  
主要取扱商品 <半導体デバイス> パワーIC、コントロールIC、ホールIC、バイポーラトランジスタ、MOSFET、IGBT、サイリスタ、整流ダイオード、発光ダイオード(LED)<br><CCFL> 冷陰極蛍光放電管(C CFL)<br><PM> スwitching電源、トランス<br><PS> 無停電電源装置(UPS)、直流電源装置、インバータ、高光度航空障害灯システム、各種電源装置・機器

### 事業所

川越工場、東京事務所、大阪支店、  
営業所(札幌/仙台/名古屋/金沢/広島/九州)

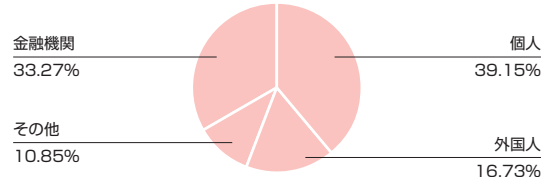
### 主なグループ企業

石川サンケン株式会社/山形サンケン株式会社  
鹿島サンケン株式会社/福島サンケン株式会社  
サンケンオプトプロダクツ株式会社  
大連三壘電気有限公司  
アレグロ マイクロシステムズ インク  
ポーラー セミコンダクター インク  
サンケン パワー システムズ(ユークー) リミテッド  
ピーティー サンケン インドネシア  
韓国サンケン株式会社  
三壘力達電気(江陰)有限公司

### 株式の状況

発行可能株式総数 257,000,000株  
発行済株式の総数 125,490,302株  
株主数 18,377名  
単元株式数 1,000株

### ●所有者別分布状況



### 役員

#### 取締役及び監査役

代表取締役社長	飯島 貞利
取締役	秋山 秀次郎
取締役	和田 節啓
取締役	加藤 進啓
取締役	星野 雅夫
取締役	太田 大明
取締役	デニスH.フィッツジェラルド
常任監査役	杉山 光正
監査役	加賀谷 秀樹
社外監査役(非常勤)	石橋 博
社外監査役(非常勤)	栗原 雅信

#### 執行役員

専務執行役員	秋山 秀次郎
常務執行役員	和田 節啓
常務執行役員	加藤 進啓
上級執行役員	星野 雅夫
上級執行役員	工藤 欣二
上級執行役員	植木 充夫
上級執行役員	沖野 達夫
上級執行役員	太田 大明
執行役員	鈴木 博宏
執行役員	志々村 厚一
執行役員	鈴木 庸弘
執行役員	鈴木 和之
執行役員	谷山 之康
執行役員	村上 清茂
執行役員	伊藤 茂之
執行役員	大内 博之
執行役員	曹路 地剛

### ●大株主

株主名	持株数	出資比率
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	8,378千株	6.67%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	8,313千株	6.62%
株式会社埼玉りそな銀行	6,011千株	4.79%
ジュニパー	3,000千株	2.39%
インターナショナルレクティファイアークーポレーション	2,500千株	1.99%
日本興亜損害保険株式会社	2,061千株	1.64%
株式会社八十二銀行	1,556千株	1.24%
野村信託銀行株式会社(投信口)	1,525千株	1.21%
ファルコン	1,390千株	1.10%
ザ・チェースマンハッタンバンクエヌエイロンドン エスエルオムニバスアカウント	1,234千株	0.98%

(注) 当社は自己株式を4,107千株所有しておりますが、上記の大株主からは除外しております。